

学修到達目標

肉眼的に認知できる形態を既に学んだ歯について、その内部のミクロの構造(歯の組織)、そうした組織構造が形づくられる過程(歯の発生)を理解する。また、その過誤によって生じる異常、あるいは、歯列・咬合についての解剖学な知識についても理解を深める。

■教科書：新歯科技工士教本 歯の解剖学 (医歯薬出版)

■参考書：歯のかたち (永末書店)

■授業時間：木曜日 18:00～18:45

(4月16日～7月30日の偶数日、および9月10日)

■オフィスアワー：鳥海 拓 木曜日 16:30～17:30 (1号館2階203号室)

質問等は随時電子メールで受け付ける。

e-mail: toriumi.taku@nihon-u.ac.jp

■成績評価：定期試験(80%) および2回の小試験(20%)の結果を総括して評価する。

■注意事項：教科書および筆記用具を必ず持参する。なお、小試験は2回実施する。

■準備学習：事前に教科書を読んで、授業内容を理解しておくこと。

授業日・担当者	講義項目	学修到達目標
第1回 4月16日 鳥海 拓	1. 歯と歯周組織 1) 歯の組織 エナメル質 象牙質 (教1) pp. 85-91	<ul style="list-style-type: none"> ・エナメル質でみられる諸構造を学ぶ。 ・象牙質でみられる諸構造を学ぶ。
第2回 4月30日 鳥海 拓	1. 歯と歯周組織 1) 歯の組織 歯髄 セメント質 (教1) pp. 92-94	<ul style="list-style-type: none"> ・歯髄に存在する細胞と役割を学ぶ。 ・セメント質の種類と諸構造を学ぶ ・セメント質に存在する細胞を学ぶ。
第3回 5月14日 鳥海 拓	1. 歯と歯周組織 2) 歯周組織 歯根膜 歯槽骨 (教1) pp. 95-98	<ul style="list-style-type: none"> ・歯周組織の構成を学ぶ。 ・歯根膜の線維と細胞の役割を学ぶ。 ・歯槽骨の位置づけと分類を学ぶ。
第4回 5月28日 鳥海 拓	1. 歯と歯周組織 2) 歯周組織 歯肉 (教1) pp. 99-102	<ul style="list-style-type: none"> ・口腔粘膜の分類と構造を学ぶ。 ・歯肉の分類とそれらの特徴を学ぶ。 ・歯肉線維の分類と役割を学ぶ。

授業日・担当者	講義項目	学修到達目標
第5回 6月4日 鳥海 拓	1. 歯と歯周組織 3) 加齢に伴う変化 (教1) pp. 103-106 ◎小試験	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯, 歯周組織あるいは顎骨の加齢変化について学ぶ。 ・ 歯と歯周組織の基本事項について小試験を行う(範囲は第1～4回)。
第6回 6月18日 鳥海 拓	2. 歯の発生 1) 歯胚の発生 2) 歯冠の形成 (教1) pp. 77-80 (参1) pp. 32-33	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯の由来と口腔前庭の形成を学ぶ。 ・ 歯胚の構成組織とその変化を学ぶ。
第7回 7月2日 鳥海 拓	2. 歯の発生 3) 歯根の形成 (教1) pp. 80-81 (参1) pp. 33	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯根の象牙質形成, セメント質形成の相違を学ぶ。
第8回 7月16日 鳥海 拓	2. 歯の発生 4) 歯の萌出と脱落 (教1) pp. 82-84 ◎小試験	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯の萌出にともなう歯と歯肉の境界部の形成を学ぶ。 ・ 歯の脱落と交換にともなう現象を学ぶ。 ・ 歯の発生の基本事項について小試験を行う(範囲は第6～7回)。
第9回 7月30日 鳥海 拓	3. 歯の異常 1) 数と萌出の異常 2) 形態の異常 3) 色の異常 (教1) pp. 107-116 (参1) pp. 226-227	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯の異常を大別できるようにする。 ・ 異常の性状(推測可能なものはその成因)や特徴, 好発部について, 実際に抜去歯を観察しながら学ぶ。
第10回 9月10日 鳥海 拓	4. 歯列と咬合 1) 歯列弓 2) 咬合 3) 歯の傾斜 4) 咬合と歯列の異常 (教1) pp. 117-127 (参1) pp. 27-31	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯が顎に植立していることによって生じる形態(歯列弓, 咬合彎曲, コンタクト, 鼓形空隙)やその特徴, あるいは咬合関係や植立方向などを学ぶ。